

ふるさと



錦町議会だより



2026.NO

155

ふるさと納税の
返礼品に決定!

共同開発
球磨中央
市庁舎
錦町

目次

- ・ 球磨中央高校チャレンジシヨップ報告会・・・2・3
- ・ 第4回定例会・・・4・5
- ・ 一般質問一覧・・・6～7
- ・ 一般質問・・・8～16
- ・ 広報研修報告・・・17
- ・ 全国議長研修大会報告 / 人吉市議会との意見交換・・・18
- ・ 総務建設常任委員会研修報告・・・19
- ・ 議会のうごき・意見交換会参加者募集のお知らせ・・・20



球磨中央高校チャレンジショップ報告会

若い視点で商品開発

いいね



令和7年12月16日、錦町役場

が行われました。

3階会議室におきまして、球磨中央高校が錦町と協力して取り組んでいる「チャレンジショップ事業」の活動報告会が開かれました。

報告会には私達議員と町職員の約30名が参加し、3年生が選抜授業でこれまで取り組んできた特産品商品開発、今年度から取り組んでいる人吉海軍航空基地資料館「ひみつ基地ミュージアム」ガイドの取り組み内容を、スライド等を活用しての元氣いっぱいプレゼンテーション

この「錦町チャレンジショップ事業」は、令和2年度に策定された、第6期総合計画の中の「空き家等を利用したチャレンジショップの開設」に基づき、

将来を担う若者に町の活性化策を考える機会を通じ、地域理解を深め、地域への愛着や関心を持つってもらうことを目的に、町内の県立球磨中央高等学校と連携し令和3年度にスタートしたものです。

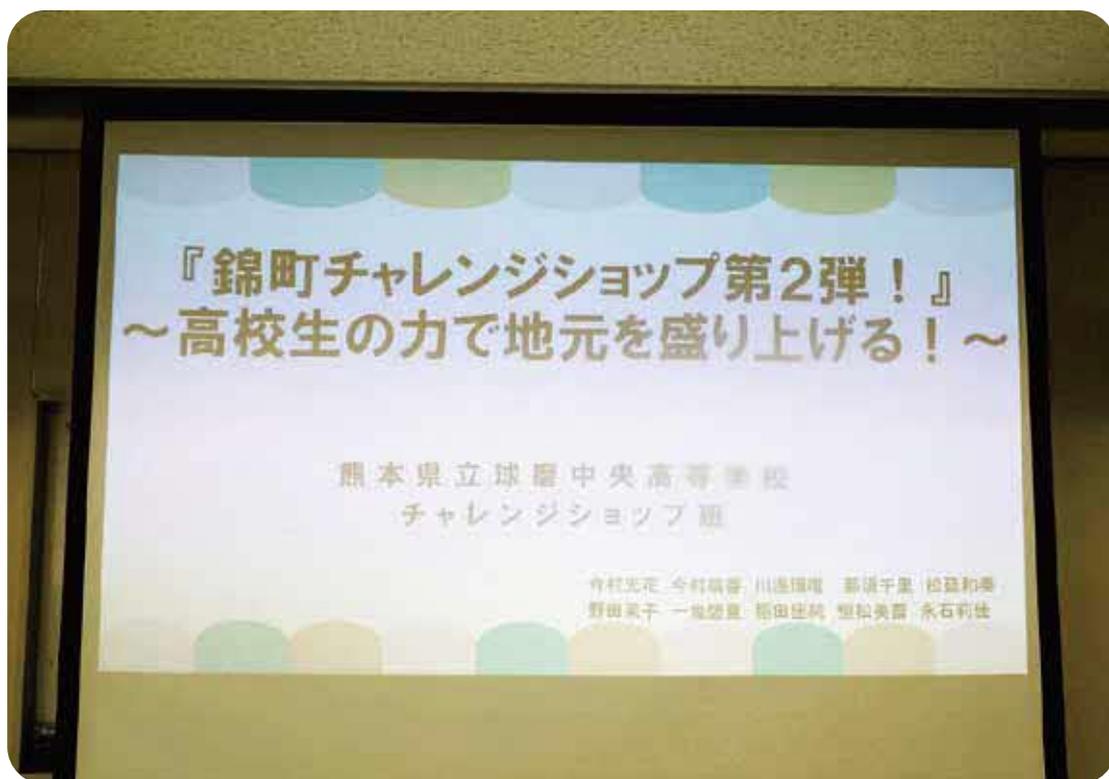
特産品商品開発では市房食堂とのコラボレーションのもと、

錦町産のいちごを使った「いちごマッコリアイス」と「コーン茶アイス」を開発され、これまでの取り組み、販売状況、これからの目標が発表されました。

なおこの商品はふるさと納税の返礼品の取り扱いともなりました。現在20店舗3000個以上の販売実績を上げており、これから「緑茶チョコ」「いきなり団子」の新しいアイスの開発や、イオン九州との商談も進んでいるとのこと。

この取り組みをまとめたものが、令和6年度第32回全国高等学校生徒商業研究発表大会、県予選にて10連覇を達成し、九州ブロック代表として全国大会にも出場。





令和7年度から取り組んでい
る人吉海軍航空基地資料館「ひ
みつ基地ミュージアム」のガイ
ドでは、小中学生の修学旅行を

中心にガイドされ、事前の学習、
対象者に合わせた説明のやり方
など苦労された内容を発表され
ました。訪問者の方からの質問
などを受けることで、錦町の歴
史など、まだまだ知らないこと
が多いことを実感されたことな
ど話されました。「事業に取り
組む中で多くのメディアに取り
上げられ、知名度アップにつな
がった。高校生が町の歴史や文
化をガイドすることで若者が増
えていくと確信している。」と
成果を報告されました。

発表のあと質疑応答があり、
議員、数人から、「アイスは地
元ではどこで販売されている
か。」「どのくらいの頻度で活動

されているのか。」「応援するの
で、いろんなことにチャレンジジ
ングしてほしい。」など質問や意見
が出されました。

最後に町長より、「ガイドの
反響も大きく嬉しく思ってい
る。今後も子どもたちの力で人
吉球磨地域全体の発展に向けて
頑張っていたいただきたい。」と述
べられました。

錦町総合計画の「空き家を利用
したチャレンジショップ開
設」に基づき、地域と学校、若
者が結びついた事業は、これか
らの地域の発展に大きく寄与す
るものと感じます。これからも
若い視点を活かし、錦町の生産
物を活用した新たな商品開発を
進めていただきたいと思います。
す。議会として応援していきたく
いと考えます。

令和7年

第4回

定例会

補正予算 **7,603万8千円** (一般会計) を可決

人事院勧告に準じた職員人件費増額、特別職、議員の報酬見直し、消防団活動円滑化のための各予算、球磨焼酎蔵元支援給付など

給水条例改正

令和8年4月から
基本料金は約200円増、超過料金は約30円(1t
当たり)の増

権利の放棄

前町長に対する町の損害賠償請求についての権利を放棄

令和7年第4回定例会は、12月9日から12日までの4日間の日程で行われ、令和7年度各会計補正予算5件、条例制定など14件、報告1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。その他、陳情3件が上程され、厚生文教経済常任委員会(竹田委員長)に付託した結果、いずれも「採択」とした。

なお、今回の一般質問には、9人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例制定・改正等

- ① 錦町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
職員不祥事の責任をとるため、町長と副町長の給与月額を減額するもので、地方自治法による専決処分承認を議会に求めるもの。
- ② 錦町学校給食費に関する条例
学校給食運営に係る経費管理について、町の歳入歳出として予算計上できるように、次年度より公会計化するための条例を制定するもの。
- ③ 錦町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
法改正により「こども誰でも通園制度」が創設されたため、その事業実施にあたり基準を定めるもの。
- ④ 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
一部改正法の施行に伴い関係条例に所要の改正を行うもの。
- ⑤ 錦町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例
より広い意見を子育て施策に反映させるため、委員の数を増やすもの。
- ⑥ 錦町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に準じ、一般職の職員の月例給及び賞与等を引き上げるもの。
- ⑦ 錦町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ⑧ 錦町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
特別職報酬等審議会から答申された内容に基づき、報酬月額についてそれぞれ改めるもの。
- ⑨ 錦町職員の分限の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例
職員の人事評価の結果について、勤務実績が良くない場合、分限にも反映するよう改めるもの。
- ⑩ 錦町税条例の一部を改正する条例
地方税法の改正により所要の改正を行うもの。
- ⑪ 錦町給水条例の一部を改正する条例
- ⑫ 錦町下水道条例の一部を改正する条例
水道事業運営審議会から答申された内容に基づく水道料金の改定と水道・下水道の消費税の取扱いについて改めるもの。

⑬ 熊本県市町村総合事務組合の共同
処理する事務の変更及び規約の一
部変更について

その他

① 権利の放棄について

町の損害賠償請求権により、
債務者である前町長に対し破産
手続開始の申立てを行い、破産
管財人による財産調査を行った
ところ、換価可能な財産は無く、
裁判所による債務者の免責許可
が認められたため、権利の放棄に
ついて、地方自治法の規定によ
り議会の議決を求めるもの。

報告

① 和解及び損害賠償額の決定について

陳情採択

① 介護保険制度の抜本改善、大幅な
処遇改善を求める陳情書

② 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の
医療・介護の実現を求める陳情書

③ 安全・安心の医療・介護提供体制を
守るため、すべてのケア労働者の処
遇改善につなげる報酬10%以上の引
き上げを求める陳情書

錦町給水条例の一部を改正する条例

表決一覧（賛成＝○、反対＝×）

谷口	丸小野	梶原	早田	吉田	石松	竹田	岡田	池田	金山	高田	可・否
○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	可決

討 論

×反対意見 池田秀晴議員	本管の埋設箇所における未加入世帯への加入促進により、加入率が100%になるまでは値上げせず、一般財源で賄うべき。 また値上げすると加入者減少が予想されることから、値上げには反対。
○賛成意見 金山民幸議員	水道事業会計は、令和6年度決算において赤字額の累計が9,600万円余りとなっている中で、このまま料金改定をしないと健全な事業経営が出来なくなることが危惧される。 人口減少により水道料金の減収が予想される一方、人件費や電気料等経常経費の高騰始め借入金の償還金、老朽化した水道管の維持補修や水源施設の改修更新等に多額の経費が見込まれるので、健全な経営に資するための水道料金改定は、厳しい社会状況にあるが、避けて通ることができないことと判断する。 今後も、未加入者の加入促進と水道料金未収金徴収については、全額徴収に努められることを要請し、賛成。
○賛成意見 早田和彦議員	上下水道事業運営審議会で検討された意見を尊重し、賛成。
○賛成意見 岡田武志議員	料金の値上げは、誰もが痛みを伴うものであるが、水道事業会計の将来にわたる事業経営を考えると、賛成。

水道料金改定の内容

区 分	旧料金	新料金	改定後の水道料金(税込み)
基本料金 (10㎡まで)	1,200円 (税込み)	1,273円 (税抜き)	1,273円+消費税=約1,400円 ※改定前料金から約200円増
超過料金 (11㎡以降 1㎡当たり)	140円 (税込み)	154円 (税抜き)	154円+消費税=約170円 ※改定前料金から約30円増

改正後は、基本料金と超過料金の合計額に消費税を加えて算出(1円未満切捨)

令和7年第4回錦町議会定例会一般質問一覧①

議員名	質問事項	質問の要旨
丸小野議員 (P6)	盛土規制法と林地開発許可制度	① 令和7年4月1日に運用開始された盛土規制法の錦町での現状、問題点等。 ② 林地開発許可制度の錦町で対象となる地域、地区、場所等。
	錦町職員の人材育成、研修	① 研修の現状。 ② 人材育成の課題、目的、取組、推進等、自己啓発。
	錦町のスポーツ振興	① スポーツ振興の現状、課題。 ② 令和7年度スポーツ振興費補助金。
谷口議員 (P7)	消防団への支援	① 議会と消防団幹部との意見交換会が開催され、各要望がなされた。要望に対して検討はなされたか。
	太陽光発電所の廃棄等費用積立制度の対応把握	① 町内における廃棄等費用積立制度対応の発電所の数はどれくらいか。 ② FIT終了等により、費用積立をしない発電所が増えていると聞かざりながら放置等が無いよう町としての対応は。
	鳥獣被害対策は自治体単独ではなく広域的な対応が必要ではないか	① 鳥獣被害防止計画のもと実施されているが、特に猿など広域的な協議会を設置し対策すべきではないか。
	錦町ホームページの情報発信	① 錦町ホームページの内容更新担当はどこが担っているか。 ② 文字情報、データの良し悪しは良いと思うが、観光案内、町外向けの情報発信が不足、工夫が必要と感じる。
石松議員 (P8)	がん検診の受診率向上対策と医療用ウィッグの助成は	① がん検診の実施状況と今後の計画は。 ② 受診率向上に向けた対策としてどのような取り組みを進めていくのか。 ③ がん予防のための生活習慣改善対策と周知は。 ④ 錦町のがん検診への助成の現状は。 ⑤ 医療用ウィッグの助成の考えは。
	過去の質問より 令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興は	① 砂防ダムの整備の進捗状況は。 ② 治山ダムの整備の進捗状況は。 ③ 砂防堰堤や治山ダムの計画は。
	町民の声より 錦町の番地・地番	① 重複番地はあるのか、あるとしたらどのような原因か。
池田議員 (P9)	上下水道料金の値上げ	① 料金値上げの理由は、値上げの時期は。 ② 現在、加入されている町民の皆様方への説明は万全か。未加入世帯への加入促進の考えは。
	令和6年度の決算審査を振り返って思うこと	① 審査意見書のまとめで職員の勤務状態に対してコメントされているが。 ② 予算の計画が甘いとは。
	給食費の無償化	① 令和8年度で給食費の無償化見直しは。
	次期の町長選挙	① 残り任期が1年4ヶ月となったが、進退の考えは。 ② 進退表明の時期は。

令和7年第4回錦町議会定例会一般質問一覧②

議員名	質問事項	質問の要旨
金山議員 (P10)	人口減少進行における財政運営	① 一般会計及び特別会計（5）財政運営への影響はどのような予測がされるか。 ② 影響を緩和するためにどのような対応が考えられるか。
	くま川鉄道全線開通後の利用者促進対策	① 本町の鉄道利用者促進の計画等。 ② 町内各駅の環境整備。
	高齢者福祉対策	① 高齢者及び世帯数と一人暮らし世帯数。 ② 一人暮らし世帯の安否確認の現状。 ③ 緊急通報システム利用者数と状況。 ④ いきいきサロン等への参加勧誘。 ⑤ 黄色いハンカチ運動による安否確認。
吉田議員 (P11)	過去の一般質問	① 町道の消えかかった白線の引き直しの計画は。 ② 子ども議会に高校生の登用の考えは。 ③ 豪雨被害軽減対策、公共施設に雨庭設置の考えは。
	町民・利用者の快適性のために	① 町民グラウンドトイレ、洋式トイレ増設の考えは。 ② 町民グラウンド、東側駐車場の舗装化の考えは。
	球磨川・両岸の鳥獣害被害対策	① 球磨川周辺の鳥獣害対策。 国管理の球磨川、河川敷が鳥獣害の棲み処にならないように対策を要望できないか。
早田議員 (P12)	錦町の公債権と私債権の回収	① 公債権と私債権の種類は。 ② 徴収係が担当する債権は。 ③ 直近の債権未回収額。 ④ 私債権の回収はどのような仕組みか。 ⑤ 私債権の回収を一本化出来ないか。
	最低賃金上昇による、農業・商工業への影響	① 最低賃金上昇によって各産業に影響がでると予想される。町長の分析は。 ② 商工業には国の制度があるが、農業には制度がない。補助制度を作る予定は。
	アレルギー食対応の弁当持参家庭への補助	① 弁当持参家庭への食材経費補助。
	二次元コードによるふるさと納税PR	① 本町に在する店舗に二次元コード（QR）を配布して、ふるさと納税のPRを協力依頼はできないか。
竹田議員 (P13)	大王原住宅	① 町有住宅のため、総務課管轄下になったのか。 ② 現在の入居者数は。 ③ 駐車場、駐輪場対策は。 ④ 雨水対策は。
	球磨川サイクリングロード	① 錦町を通るサイクリングロード、町として現状を把握しているか。 ② 県（土木課）への要望書提出を。
荒川議員 (P14)	錦町役場における「組織内責任の所在」を問う	① 令和6年度決算より「ふるさと納税収入額減額から見える今後の財政管理」 ② 令和6年度決算より「介護保険特別会計不用額多額から見える予算算定管理」 ③ 2件の職員不祥事処分対応から見える「コンプライアンス違反に対する危機管理」

一般質問

今回は9人が登壇
(要約掲載)

町政のことが聞きたい！



盛土規制法の現状と問題点。

丸小野 盛土規制法について錦町の現状は。

総務課 盛土規制法に基づく許可制度については、令和7年4月1日から県からの権限移譲により、本町において許可申請の受付及び進達事務を開始したところだ。県内全域に規制区域が指定されており、錦町においても全域が

住宅造成等工事規制区域、または特定盛土等規制区域のいずれかに指定されている。

丸小野 錦町の役割は。

総務課 許可申請の受付、進達のみだが、必要に応じて、県の許可申請の中で出てくる疑義紹介への対応や不法盛土の発見、所有者不明土地に関する情報提供を行うことが求められている。

丸小野 問題点は。

総務課 現在申請が少なく、制度運用上の細かな課題がまだ見えて来ないが、県による建設関係業者への説明会も行われている。制

度の周知は十分行われていると感じるが、住民や土地所有者等十分に浸透しているとは言いがたい状況なので、広報紙等により周知していく。

錦町職員の人材育成・研修の現状

丸小野 錦町職員の研修の現状は。

総務課 令和7年度は、90人の職員の中、延べ151人が研修を受講している。研修内容は多岐にわたるが、主事クラスはサービス向上研修・タイムマネジメント研修、参事クラスは法制執務やコーピング研修、係長以上については契約事務・ハラスメント未然防止・リスクマネジメント研修を受講している。

丸小野 人材育成の目的は。

総務課 人材育成の根本的な目的は、行政サービスの質を維持・向上させることで、職員一人一人の職務遂行能力の向上、専門分野

への対応力の強化、組織全体としての知識の蓄積と共有、次世代の組織を安定的に運営できる体制づくりになる。

丸小野 人材育成の課題は。

総務課 少人数体制による職員の業務負担の増加、業務の多様化・高度化への対応、制度改正と新たな分野に関する知識の習得、職員間での経験・スキルの偏り等がある。

丸小野 地方公務員法の第30条の服務の根本基準に、地方公務員は全体の奉仕者である。全体で集まって研修を行いながら、日々業務の中で人材の育成を断続的に行い、多様化・高度化する業務を高い水準に提供すること。機械でもAIでもなく、「人」が重要である。町民の様々なニーズに的確かつ迅速に対応できる人材育成を望む。



まるおの せいいち
丸小野 聖一 議員



消防団への支援を。

谷口 議会と消防団幹部との意見交換会が開催され、消防団の幹部から要望がなされた。賛同し要望するところである。要望についてどのような検討がなされたか。

総務課 課内で検討し、今回補

正予算に計上した。出初式放水競技の安全対策のクレーンの借上げ及び吹奏大会出場チームが必要となる消耗品の購入費の補助。すぐ取り組むべき事項としてまず対応する。



たにくち かずや
谷口 一也 議員

谷口 各種免許取得の補助など、大変有意義なことだと思うがどうか。

総務課 要望の分団運営費、詰

所の維持管理経費の増額、また各種資格取得に対する補助についても新年度予算への反映に向けて必要な検討を進めていく。

谷口 消防団も火災に全く出動しないとか、余裕の状況があれば、町へのボランティア活動も考えていただければと希望したい。

適切な太陽光パネル 処分指導を

谷口 放置された太陽光パネルにより景観が悪化したり、放置パネルの処分に対して公費が使われる事が無きよう対応を伺う。

企画観光課 錦町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理に関する条例を制定。今のところ事業廃止に係る件について法令等による調査権限もなく、積極的な確認は難しい。適正な事業廃止が行われるよう周知及び啓発活動を今後検討していく。

熊本県では有識者でつくるパネルの放置対策に関する検討会議が



見やすい工夫を (加茂神社)

開催され、今年度中に報告書をまとめられ、パネル撤去に係る撤去費用の確保及びリサイクル体制の構築を進められる。その内容を踏まえ、国の動向も注視し町での対応策を検討していく。

鳥獣被害対策は 広域的な対応で

谷口 鳥獣被害対策は自治体単独ではなく広域的な対応が必要では。

農林振興課 人吉球磨管内の農

政主管課長会議にて、単独市町村で追い払いを実施しても堂々巡りと意見もあり、広域的な協議会の設置に複数町村から県に対し要望があった。
県の動向も注視し効果的対策、近隣町村と実務者レベルでの情報共有や協議の場を働きかけていきたい。

球磨中央高校報告会

第四回定例会

一般質問一覽

一般質問

研修報告

研修報告・意見交換会

医療用ウィッグの購入費助成は。

いまつ まゆこ 議員
石松 まゆ子

ができる。保健師・栄養士・看護師が積極的に指導して対応、また早期発見・治療が死亡を減らすためには重要である。広報誌やアイネット等で周知に努める。

石松 錦町のがん検診への助成の現状は。

健康増進課 41歳の乳がん検診や21歳の子宮がん検診を無料で受けるクーポン事業がある。

石松 今やガンは女性の3人に一人、男性の2人に一人がかかっている可能性がある病気と言われている。検診受診率を国が目標60%に向けて対策を進める中、錦町のがん検診受診率は10〜20%台である。早期発見・早期治療に向け、受診率の向上と対策は。

健康増進課 がん検診については、7月と11月の集団検診と施設健診を実施。生活習慣病の予防並びに重症化防止に気を付けることでがんの発症リスクを減らすこと

石松 国では、抗がん剤治療のため外見変化に対する医療現場のサポートの重要性が認識されている。錦町として医療用ウィッグの購入費助成の考えは。

町長 錦町がん患者アピアランス推進事業補助金要綱を定め、令和8年度から実施し、購入者へ2万円の限度で行う。

砂防堰堤や治山ダム計画は

石松 令和2年豪雨災害から

5年経つが、大雨が降ると河川に土砂が流れて堆積していると感じる。土砂災害を防ぎ、下流の人家や道路・農地を守る砂防ダムや山の崩壊を防ぎ森林や山地の安定を図る整備が必要である。錦町総合計画の中で国土強靱化地域計画

が示され、致命的な被害に遭わないよう、総合的な対応をするときられている。砂防河川に堰堤やダムの計画は。

地域整備課・農林振興課 砂防

堰堤については県に確認をしたところ、新規整備計画は未定。治山ダムについては、8年度一つの事業を実施予定。

石松 相良村・山江村では河川事業と治山事業を連携し、洪水氾濫対策として砂防ダムや治山ダムの計画を国が進めている。災害復旧は国土交通省が管轄する政策



土砂や流木を受け止める砂防堰堤

の一つである。国交大臣や官房長官は熊本県出身者であり、このチャンスを生かしていただき、防災・減災対策を進めてほしいと考える。

地域整備課 今後においては、砂防堰堤の設置が必要な該当箇所があるならば、再度県の担当部署と協議を行い、交付金事業等の採択要件の確認を含めて国・県に要望していく。

上水道の値上げは。

池田 料金値上げの理由は、値上げの時期は。施設の事業計画及び実行に支障を来すのか。

地域整備課

令和六年度決算に

において、累積赤字が約一億円と厳しい経営状況であり、給水人口の減少や物価高騰の影響など厳しい状況が続く中、料金改定を実施しなければ、十年後には累積赤字が約二億三千万円となる見込みであり、健全な経営のために料金改定が必要であると判断した。また、



いけだ ひではる
池田 秀晴 議員

ジで料金の値上げの周知をしていきたい。

池田 令和六年度決算審査を振り返って思うと、職員の勤務状態に対してコメントされている。町長、教育長にお聞きしたい。

教育長

町民の信頼に応えるべき、適切かつ丁寧な業務に対応するべきと思う。

町長 事務怠慢等の疑念を抱かれないようにという指摘だが、職員には、本当に頑張ってもらっている。

池田 令和八年度給食費の無償化見直しは。

教育振興課

現在、給食費は全額補助、無償化しており、今後のことについては検討することになる。

池田 次期の町長選について、残り一年四カ月になったが進退の考えは。

町長 あと任期が一年四カ月あるので、一生懸命頑張らなければならぬと思ったところ。進退の時期について、今は全然考えていない。



今後、3年～5年毎に値上げが予想される上水道

池田 組合員の加入者は、値上げに対しては物凄く敏感になっているので、加入者の納得いくようにやって頂きたい。

地域整備課

加入者の多くの方が納得いただけるかは別として、広報誌、あいねっと、ホームページ

地域整備課 審議会のメンバーについては、お答えできない。

池田 審議会の六名のメンバーは、本町の住民であるのか。また、水道未加入者であるのか。

球磨中央高校報告会

第四回定例会

一般質問一覧

一般質問

研修報告

研修報告・意見交換会

人口減少による将来の 財政への影響と対応は。



かなやま たみゆき
金山 民幸 議員

総務課 財源確保として町税等の確保と各種事業補助制度の活用、公共施設の統廃合、町有財産の売却等を進め、また、効率的な事務事業執行のためにデジタル化に取り組む。

くま川鉄道利用者促進対策は

金山 人口数は財源の確保等に重要な関わりを持つが、本町の人口は10年後、約8,600人、20年後、約7,500人と推計されている。人口減少による財政運営への影響と対応はどのように考えているか。

町長 就業者数の減少により住民税等が減少し、高齢者の増加により医療・介護費用の財政負担増と福祉、農業、教育関係で、町単独事業である子ども医療費及び農畜産業補助等や水道の維持コスト高等により、行政サービスが厳しくなると予想している。

金山 くま川鉄道沿線市町村は、各駅での観光施設整備やイベント開催により地域活性化と利用者増を進めている。町内の各駅では困難と思うが、町の利用者増促進対策は。

総務課 くま川鉄道管理機構で利用者促進のために、利用者の利便の確保や観光振興等を10年間取り組んでいく。

金山 各駅の環境美化は周辺の皆様の奉仕により行なわれてきているが、高齢化等により困難な状況である。

樹木等の整備に取り組む考えは。
総務課 肥後西村駅については、球磨中央高校生徒等により美化作業をして頂いている。今後は管理機構において計画的に実施していくことになる。



一武駅構内

一人暮らし高齢者の 安否確認推進を

金山 高齢者の一人暮らし世帯数と安否確認の状況と対応は。

保険政策課 約660世帯で、安否確認の状況は区長、民生委員等と連携し見守りを行い、包括支

援センターで情報を管理し訪問等を行い対応している。年間の事案件数は48件で体調不良、熱中症、所在不明、認知症関係であった。
金山 緊急通報システム利用者の状況と対応は。

保険政策課 利用者は16名で、警備会社が対応している。

金山 生き生きサロン等の周知と実施状況について。

保険政策課 区長のあいネット放送等やキーパーソンからの周知により41ヶ所で実施され、健康体操や介護予防教室等をして頂いている。

金山 一人暮らし世帯の安否確認を更に推進するために、毎朝、黄色いハンカチを玄関に掲げて地域の人達に無事であることの表示運動を進めてはどうかと考えるが。

保険政策課 日常生活において高齢者の転倒は重症に繋がるリスク等も考えられるので、検討の必要がある。

住民を守る・生活を守る。

過去の質問を再度問う

吉田 白線等に車が近づいていくと、スマートアシスト、車線逸脱警報が作動する。白線が白い理由は、アスファルトの黒やグレーとのコントラストで、運転者や歩行者から見やすく夜間でもライトに反射して視認性を高めるとある。経費も必要と思うが安全確保に、引き直しの計画はないか。

地域整備課 町道の白線は、多くの路線で摩耗し消えかかっている。町道巡視、或いは地区からの要望等で、必要な箇所については



よしだ しのじ 議員
吉田 眞二

対応する。
吉田 子ども議会に高校生の参加を。

教育振興課 高校生を対象とした議会の開催も検討する必要はある。令和8年度に取り組むことも可能と考える。球磨中央高校と協議を行ってみたい。

教育長 町の特産品の商品開発、地域へのボランティア活動、町内の小中学校との交流、学習支援、地域に密着した活動を推進していただいている。大変興味深く感じ、高校側と協議する場を設け検討していく。

吉田 農家は、田んぼダムに取り組んでいただき、公共施設に雨庭を設置し（下流域の方々の生命・財産を守る）災害軽減のため雨庭導入の検討を願う。

総務課 整備費用が必要、また収水量に応じた適地の確保など、直ちに進めることが難しいと判断している。

利用者の快適性のため

吉田 町民グラウンドトイレに洋式トイレの増設の考えはないか。

教育振興課 今後、計画的に順次、洋式化を進め更新していく。

球磨川兩岸の鳥獣害対策

吉田 球磨川周辺の鳥獣害対策、国管理の球磨川河川敷が鳥獣害の棲み処にならない対策を国に要望を願う。

農林振興課 特に地域に絞った対策は目撃情報や通報があれば町内全域で行っている。作物の被害を事前に防ぐ補助も行っている。侵入防止用電気柵設置の検討をお願いする。

吉田 もちろん農家、耕作されている方々の対策と努力は必要だが、他に対策はないか。

地域整備課 鳥獣害対策を兼ねて棲み処となる箇所の撤去について、町からも引き続き要望していく。

吉田 農作物、堤防或いは町道を利用される方々が被害に遭わない対策、鳥獣害の棲み処にならない対策として部分的でなく広域的な伐採と撤去を国土交通省に要望されたい。

町長 言われるように広域的にしていけないと部分的では効果が薄い。右岸、左岸非常に危ない。しっかりと、町村首長で国に要望していく。



鳥獣害による水稻被害

アレルギー食対応の弁当持参 家庭へ公平感を保つため 食材経費の補助を。



わざだ かずひこ
早田 和彦 議員

教育振興課

給食提供経費につ

いては、町が全額補助を行って
いるが、アレルギー対応食が必要
な方と給食の提供を受ける方と差
が出ている。その差を埋めるとな
ると、弁当持参の方に対し補助が
必要と思う。

早田

現在の1食当たりの給
食費と年間の提供日数は。

教育振興課

1食当たり、小学
校が300円。中学校は365円。
年間提供回数は183回程度で計
画している。

早田

アレルギー食対応の弁
当持参家庭では、恐らくこの金額
ではできない。食材の経費を補助
できないか。



町長

公平に保つという意味
では、別の角度から補助してい
く以外ないと思う。しっかり検討を
したい。

私債権回収すれば町の資産

早田 公債権と私債権では、
20%以上も回収率に差があるが。

税務課

税務課で担当している
税が公債権。強制執行、滞納処分
できるのが大きい。

早田

私債権の回収の取組
は。

総務課

それぞれの課で対応し
ている。債権が複数の課にある場
合は、連携して回収業務にあたっ
ている。

早田

複数債権の滞納や、情
報の共有、公平な充当を可能とす
るために、任意的に未収金回収機
構的な組織を設置しては。

総務課

未収金の適切な回収
は、町財政の健全性を確保する上
で重要であると認識している。一
方、新たな部署の設置は、職員数
に余裕がなく困難な状況。今後は、
限られた人数で可能な限り取り組
みを続けたい。

町長

平等性の意味からも、
町民も自分の義務をしっかりと果

最低賃金上昇による、 農業・商工業への影響は

農業・商工業への影響は

たしていただきたい。我々も今、
いいアイデア等を頂いたので、今
後、副町長をトップに組織を作ろ
うと思う。

早田

未収金も回収すれば町
の資産。是非体制づくりをと思う。

早田

商工業には、賃上げを
支援する助成制度があるが、農業
にはない。重点支援交付金を利用
し、独自の支援制度を新設できな
いか。

農林振興課

商工業には国の制
度として生産性の向上や賃上げを
後押しする各種制度が講じられて
いるが、農業分野では十分でない
のが現状。補助制度については、
出口戦略を考慮し、緊急的な支援
が継続的な取組とするかなど制度
設計に、慎重にならなければと考
える。また、農業者の人的負担
に配慮した支援措置を国、県に要
望し農業経営安定化に向けて実効
性のある支援に努める。

大王原住宅について。

竹田 熊本県より無償譲渡された大王原住宅は、町営住宅ではなく地方自治法上の町財産と整備管理するもので、家賃や入居基準については、町の条例や要綱により自由度の高い設定が可能。用途変更や処分をもち、裁量で対応できるということから、錦町有住宅となつたが、なぜ総務課の担当か伺いたい。

総務課 町有財産として整備、管理であるので、町の財産管理を統括する総務課管財係が担当している。



たけだ のりと
竹田 農利人 議員

竹田 現在の入居者数と、町外からの入居者は。また、外国人入居者は。

総務課 全戸60戸中44戸、町外から22戸外国の方は6世帯の10名、町営住宅から6世帯である。

駐車場、駐輪場対策は

竹田 駐車場は、1世帯1台分の駐車場か。世帯によっては2

台所有であるが仮設駐車場は。

総務課 駐車場は、西側と南側に合わせて60台分、又仮設住宅駐車場42台分あり、当面の間は現状のまま様子を見たいと考える。

竹田 各入居者の自転車・バイクだが、特に外国の方の自転車が多いが、駐輪場がなく不便を感じて居られる。駐輪場の設置を。

総務課 駐輪場は現在設置していない。現地を訪れた際に、結構な台数の自転車が玄関横にあるのを確認しているので整備を検討したい。

雨水対策は

竹田 住宅敷地内に雨水の排水路が2か所だけで、住宅通路に雨水が溜まりやすい。排水路を増設できないか。

総務課 住宅の通路部分は排水対策として有孔管が埋設してある。今後の雨量を見ながら検討する。

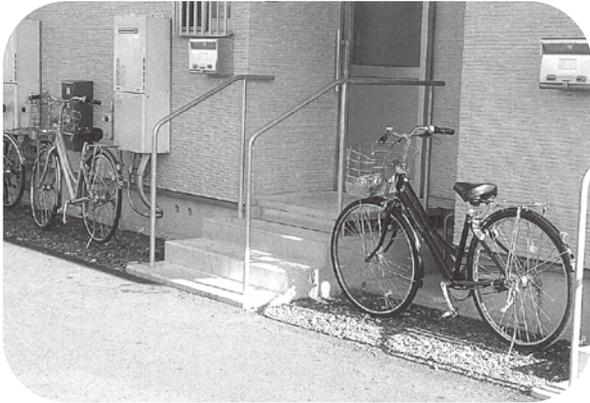
サイクリングロードについて

竹田 サイクリングロードの管理は県であるが、サイクリングロードや法面等草が2mから3mの高さがあり、錦町のサイクリングロードは管理が悪いと声を聞くが、町は現状を把握しているか。

地域整備課 球磨川サイクリングロードは県の管理であり、町での巡視はしていない為、現状は把握していない。

竹田 堤防の法面の草刈りを、第4工区役員で草刈りをして、第4工区役員で草刈りをして、草丈高く高齢者でもある為、県へ草刈りを要望して頂きたい。

地域整備課 サイクリングロードの管理者である県に尋ねたところ、県で対応予定であり、詳細な場所確認のため立ち会い等を予定している。



玄関前の自転車

錦町役場において 組織内の責任を問う。



あらかわ こういち
荒川 孝一 議員

荒川 私は議長であり、決算審議採決の時は発言できない。そこで今回、令和6年度決算を鑑み質疑した。介護保険特別会計だが、所管である委員会報告書、監査委員報告書供に『多額の不用額があり、予算執行の管理が著しく不適正』と厳しく意見している。令和5年度の不用額が1,300万円に対し令和6年度は約8,300万円と大幅に増え、また6、7月の補正予算では約72%不用額を出している。

町長 指摘通り私も、しっかりと精査し予算を組むべきだと思っている。

監査委員は行政の かかりつけ医者

荒川 私は監査委員は行政のかかりつけ医者で不正を回避すると思っている。決算審議の時、私は毎回監査委員報告書を注視してきた。ここで組織内責任の所在だが、令和6年度の担当課長（令和7年度移動）に問う。所管委員会、監査委員の令和7年度決算報告書、意見を見て、どう思ったのか。

前保険政策課

決算で多額の不用額が出たということ、一つ上げられるのが前年度の繰越金が必要かと分析している。前年度の繰越金が6,200万円だった。これを全て6月補正で計上した関係

で、これをまた3月末の補正で専決処分、これで全額計上すれば2,000万ほどの不用額になる。これは予算の執行状況というか組み方でもあり、また歳出の給付費。これが思ったほど伸びなかった。（※答弁をそのまま掲載）

荒川 繰越金を含めて、どういふふうに計算していくか、もちろんこれを代表監査、議員選出の監査に説明し納得してもらったのか。

前保険政策課

私の方から直接監査委員に説明はしていない。今の保険政策課長から説明してあると思うが、確認はできていない。

何故、自ら説明しないのか？

荒川 監査委員の報告書からいくと納得はしていない文言だ。不適切と厳しい文言だ。再度言うが、監査委員は、かかりつけの医者だ。正確にしっかり伝えるべきではないのか。我々は報告書を受け取り、それを参考に審議する。

担当課が変わったから説明はしていないでは無責任だ。町長、改善すべきだと思うが。

町長 予算のつくり方、基礎の部分がやはり欠けていた。予算を組むときは、今後精査し対応していきたい。

※①監査委員 〓 執行部から選任された職者と議会議員から選任された議員、二人体制で毎月自治体の現金や出納事務などを検査している。

※②不用額 〓 経費が予算よりも少なく済んだ時の理由により、支出しなかった額。



監査委員の審議

広報特別委員会

研修報告



熊本県・町村議会 広報研修会へ参加。

講師の言葉から

文は人なり。文章を見れば、人となりが分かる。

広報は議会なり。広報を見れば、議会がわかる。

11月7日に熊本県市町村自治会館（熊本市）で開催されたこの研修会は、事前に議会広報誌を提出し各議会広報議員の方から、クリニック・コメントを頂き評価されるものです。

本町議会だよりも、「読みたい広報誌」を指しておりますので、毎回提出し、良いも悪いもコメントを頂いております。

今回は、本町の議会だより「ほおじろ」について、どのようなクリニック・コメントがあったのか紹介をしたいと思います。

提出した議会だよりは、令和7年7月号。

■議会だより全体へのコメント。

○インデックス方式を採用し、見やすい。

○縦書きと横書きが混在して違和感がある。
○行政用語は、注釈で説明しては。

■表紙へは。

- 斬新で手に取ってみたいくなる。
- 農家の3人の配置がしゃれている。
- 改めて表紙の大事さを感じた。
- 地域産業に焦点を当て、議会が町民生活に密着していることを示す良い方法。

■次に、中のページへの クリニック・コメントでは。

- 表紙に連動したインタビュー記事で構成されインパクトがある。
- 地元農家の卒直な生の声は貴重で、地域の人々にも刺さる内容。
- 議会が問題解決に向けて現場の意見を聞くことは良い。
- 文章の構成が分かりやすい。
- 年代が違う3人に聞いていて、内容も説得力がある。
- あさぎり町との意見交換会は意義ある内容。もっと大きく扱って良かった。
- 項目には「くについて」が連発され、邪魔に感じる。
- 各ページでも見出しに「くについて」が多用されている。
- 予算の都合だろうが、一般質問の写真はカラーがいい。

以上のように、多くのコメントをいただくこととなりました。

今回特に気になる指摘が、「くについて」の多用、連発のコメントでした。削ったとしてもほとんど支障がなく、読む側にたった表記を心がけたらどうか、と。

指摘されたコメントは、次回からの課題として議員全員で共有し、より読んでもらえる議会だより作成に努めてまいります。

（文責：早田 和彦）



目次	
「お米のこと」農家さんにインタビュー	2・3
あさぎり町議会との意見交換会	3
第1回定例会	4・5
一般質問一覧	5・6
一般質問	7-13
議会のうごき・研修報告	14

熊本県 錦町議会 / 2025年7月30日発行

「一流の田舎」を目指して・・・

◆ 郡議長会研修報告

11月12日、東京NHKホールに町村議長全国大会が開催され参加してきました。また夜は、県関係国会議員への要望と意見交換会があり、木原官房長官、金子国交大臣始め多くの国会議員と面会し、錦町の現状説明と要望をしてまいりました。翌日は富山県南砺市へ赴き、南砺市の「エコビレッジ構想及びSDGsモデル事業」の取り組みについて研修をしてまいりました。エコビレッジ構想とは「少ない人口であっても、人と人との結びつけ、自然との共存や文化・経済・情報などの資源の活用と地域内循環、さらには地域外との顔の見える関係づくりによって、自立した、持続可能な地域の確立をめざす」というものでその重要な施策として

①再生可能エネルギーの活用による地域内エネルギーの自給と技術の育成

②農林業の再生と商工観光業との

連携

- ③健康医療・介護福祉の充実と連携
- ④未来を創る教育・次世代の育成
- ⑤ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスによるエコビレッジ事業の推進
- ⑥森や里山の活用と懐かしい暮らし方の再評価による集落の活性化などを実施し「一流の田舎」と実現するまちづくりをされていた。

(文責：荒川 孝一)



人吉市議会との初の意見交換会 共通課題解決へ連携。

人吉市と錦町との両議会、24人出席のもと、初の意見交換会を11月20日人吉市役所で開き、観光・医療・農業・公共交通など、人吉球磨の共通課題解決等について意見を出し合った。人吉球磨の発展には、人吉市との連携なくしては進まないと郡市の課題や施策を両議会でも共有する機会をと5年以上前から検討をして今回の意見交換会が実現した。

意見交換会では、観光面では各市町村が開催しているイベントなど、それぞれ取り組むだけでなく相互協力し地域をまたぐことが変化をもたらすのではないかなどアイデアを出し合った。

医療分野では、産婦人科をはじめとする医師や医療従事者の不足に関する要望活動を検討。

農業分野では、鳥獣被害対策について猟友会の市町村連携の提案をはじめ、駆除で生計が立てられる報酬が必要との意見も出された。

くま川鉄道についても、路線バスの在り方や地域の現状、協議会等での進捗状況などを踏まえ活発

な意見が出た。

最後に今後、地域の共通課題の議論する場を設けるため、人吉市と球磨郡の正副議長で協議会を立ち上げたいとの提案もあり、前進した初の意見交換会が出来た。

(文責：石松まゆ子)



総務建設常任委員会研修報告



令和7年11月18日、19日の2日間、総務建設常任委員会視察研修が実施された。

18日は、長崎県大村市「おおむら夢ファーム シュシュ」の視察研修があった。施設内で提供されている郷土料理は、地元食材を利用しているとのことであり、様々なメニューがバイキング形式で提供されていた。



シュシュの山口社長の説明では、農家8人で始め、都市と農村の交流拠点施設として1次、2次、3次産業を通じて6次産業化を目指した。

また、農業後継者の育成化を図る取り組みを実践し、従業員70名を雇用するなど地域活性化に貢献したとのことであった。山口社長の地域の夢を追い求める姿が印象に残った。

次に長崎県東彼杵郡波佐見町「西の原（旧福幸製陶所）」の視察研修があった。ここでは、都会からの移住定住を目指す若者の拠点づくりが定着していると考えられる。何もかもすべてを新しくするのはなく、古きものに目を向けて観光資源に生かすべきではとの助言をいただいた。



ナー」があり、本町の山の中の海軍基地（秘密基地ミュージアム）で実施している「観光と平和の拠点づくり」の参考になる施設であった。

2日間の視察研修では、観光拠点の充実による地域振興などについて改めていろいろと学んだ研修であった。

（文責：吉田 眞二）

翌日、19日の視察研修先の福岡県朝倉郡筑前町立「太刀洗平和記念館」は、東洋一を誇った太刀洗飛行場であったが、昭和20年米軍の大空襲により壊滅的な被害を受け、尊い命が奪われた若き特攻隊の中継基地であった。

ここには、「図書館閲覧コーナー」、「語り部屋」、「シアターコー



女性の皆さん お話ししませんか？

意見交換会・ぜひ 出席者募集！

議会では、今まで「農業者のみなさん・消防団のみなさん」と意見交換し、町政へと提言してきました。そこで次回は、錦町在住の女性の方々と子育て・介護のこと・日々の暮らしのことなど色々、ご意見を聞かせてもらえればと企画しています。参加年齢は問いません。個人でも団体でもOKです。政治は男性のものはもう古い。錦町への要望または提案をお聞きます。と言ってもかしこまらず、茶話気分でもよかですから、お待ちしています。

また、色々な団体とも申し込みががあれば意見交換会を開催して参りたいと思っておりますので、ぜひ呼びかけを。詳しくは議会事務局か、お知り合いの議員まで。



【広報特別委員会】

委員長	早田 和彦	委員	石松まゆ子
副委員長	谷口 一也		竹田農利人
			吉田 眞二
		議長	荒川 孝一

議会のうごき

10月

- 1日 全員協議会
- 5日 町民体育祭
- 7日 球磨郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会
- 9日 熊本県町村議会議員研修会（オンライン）
広報特別委員会
- 14日 錦町消防団幹部との意見交換会
例月出納検査（～15日）
- 15日 広報特別委員会
- 16日 町村監査委員全国研修会（～17日）
- 19日 一武小・木上小運動会
- 20日 定期監査（～23日）
- 21日 定例郡議長会
- 22日 広報特別委員会
- 28日 財政援助団体等監査
- 29日 備品監査
- 30日 森林・林業・林産業活性化九州大会
- 31日 第74回球磨畜産共進会

11月

- 1日 錦町ふるさと祭り（～2日）
- 4日 全員協議会
- 7日 町村議会広報研修会
- 12日 議長全国大会及び産業行政視察研修（～14日）
- 16日 錦町文化祭
- 17日 例月出納検査（・19日）
- 18日 総務建設常任委員会研修（～19日）
- 20日 人吉市議会との意見交換会
- 23日 剣豪「丸目蔵人」顕彰第56回少年剣道大会
- 26日 定例郡議長会
- 27日 人吉球磨広域行政組合議会定例会

12月

- 2日 議会運営委員会
全員協議会
- 9日 令和7年第4回定例会（～12日）
- 14日 分館対抗駅伝大会
- 17日 例月出納検査（～18日）
- 18日 全員協議会（臨時）
- 19日 下球磨町村議会正副議長会定例会議
- 22日 人吉下球磨消防組合議会定例会
- 24日 郡町村議長・副議長合同会議
人吉球磨広域行政組合議会定例会